

第6回山ノ内町議会報告会実施結果報告書(西部)

日時	平成25年1月30日(水) 午後7時～9時まで	
場所	よませふれあいセンター (住民参加者数:38人) 議員 14人 事務局 1人	
地元協力団体	西部協議会	
議員役割分担表	総括責任者 司会進行 常任委員会報告者 総務常任委員会 社会文教常任委員会 観光経済常任委員会 広報常任委員会 議会活性化委員会 記録者 出席議員	渡辺 正男 渡辺 正男 望月 貞明 高山 祐一 布施谷 裕泉 黒岩 浩一 児玉 信治 小林 克彦 小淵 茂昭・小林 克彦・山本 一二三・渡辺 正男・徳竹 栄子 黒岩 浩一・山本 良一・児玉 信治・高田 佳久・高山 祐一 布施谷 裕泉・田中 篤・望月 貞明・小根澤 弘 (事務局一名)
次第(担当者)	1. 開 会 2. あいさつ 主催者 共催団体 3. 議員紹介 4. 報告事項 (1) 議会常任委員会等報告 ①総務常任委員会 ②社会文教常任委員会 ③観光経済常任委員会 ④広報常任委員会 ⑤議会活性化研究会 (2) 懇談事項 5. 懇談事項 (1) 少子高齢化とどう向き合う 6. その他 7. 閉 会	司会者 小淵 茂昭 議長 池田 輝利 西部協議会長 司会者 司会者
報告事項の質疑	なし	
懇談会意見	<p>質問:道の駅は狭いし、農産物とお土産は売り場もレジも別々であったり、駐車場も道路を挟んでいて不便です、観光の入口としてどのように考えていますか。</p> <p>回答:販売の場所・レジが別れているのは、地元野菜類は生産者の運営で、なかのお土産は町公社の運営によることによります。一緒に出来るかどうかは今後の検討によります。道の駅は、チェーンの着脱場とトイレの駐車場が長野県の管理で、物産館は山ノ内町公社の管理なのでご指摘の点は、町単独では難しいところがあります。トイレが、少ないとの苦情も聞いておりますが実現しておりません。</p> <p>質問:夜間瀬かんぱいは、去年で工事が一応終了したが、次の整備も待っている。農業も少子高齢化で、町全体から耕作に来ていただいている状況だ。かんぱいにより、果樹は素晴らしいと褒められてはいるが、上水道・下水道にも使用されている現状なので改修修繕等の維持管理に協力をお願いする。丸山林道の維持も大変なので町にも整備をお願いする。</p> <p>回答:丸山林道は酷い状況であることは理解しているので、努力したい。</p> <p>回答:丸山林道はH23は140万円で、H24、H25は200万円ずつで修繕の予定です。</p> <p>質問:保育料が、3千円から5万5千円位までの大きな差があると聞かすが、他の市町村はどうか。小布施とはどうか。</p> <p>回答:他市町村と比べて、低くもないが高くもないと思っています。</p>	

回答:町は昨年から一律8%下げたが、他市町村も一律ではなく種々の軽減策を講じており、比較は難しい。

回答:小布施は、幼稚園での運営で所得に拘らず一律1万5千円位で運営しているようです。保育所としての運営は、所得との調整に制限があり、今後の課題です。

質問:所有者が分からない危険な建物が今後出てくると思うので、今から対処を考えるべき。

回答:小谷村の空き家の状況を視察したことから、総務課と消防課に相談した。町の現状を調べて、どのように対応していくのがよいかを考えてます。

質問:いわゆる婚活に町も積極的に応援してほしいが。

回答:社会福祉協議会に事業を委託しているが、町単独では遠距離の方が多く継続しにくい。今後は近隣市町村との広域でやるように計画しています。中年の方についても、考えていかなければいけないと思っています。

質問:小学校の統廃合で、地域に小学校がなくなるとそこには人が住まなくなると思うが。どうしても、統合するのであれば中学校のそばで、小中一貫校にしてほしい。

回答:13箇所の説明会では小中一貫校の希望が強い。教育委員会は、今は考えていないが今後どうするか、という問題です。一貫校でなく、併設でもいいという意見もあり、今後参考になる考えと思います。地域に小学校が在ることによって、地域が在る、という考えは災害以後文科省が取り入れている考えです。とはいえ、北小学校のークラス五人というようなこともあり、教育委員会の案を聞いてみんなで考えていく段階です。

質問:北小のためだけの統廃合といいながら、何故急ぐのか分からない。反発がある。

北小のために急ぐのであり、はっきり教育委員会はいうべきである。

いまの教育委員会やあり方委員会の考えではついていけない。

教育委員会は、この町で子どもを育てたいと思うような方針を示すべきである。

回答:資料に、教育委員会、あり方検討委員会、文科省、世界標準の考え方がありますので、参考にしてください。

教育委員会は、四地区で保護者の方に説明を行う予定ですので、発言されてください。

質問:教育委員会は、統廃合ありきで進めているのではないか。

回答:一般質問に対しては、「そうではない」と答弁している。

議員の受け止めかたは、いろいろであります。

質問:消防団の団員確保が厳しい状況にある。事例として「団員を受けなければならないのなら町を出ていく」と息子が言っていると、その親御さんから話があった。

団員からアンケートをとったが、古い体質を変えて行きたい。

少子高齢化を踏まえ地域エゴを捨てて、町全体の組織の見直しを図る時期である。

小学校の統廃合も、一つの契機になる、議員も考えるべきである。

消防団改革の提案 ①団員の手当て(報酬)を上げる。

②町民税を半額にする。

③組織を再編成する。(第1、第2、第3、の三分団制とラップ)

回答:団員になるなら、町を出て行く、という現象はこの町の縮図といえるのではないか。

地域のことは、地域のみんなで守ること、現状に即して変えて行く必要があると思う。

報酬増、税の軽減については、税収減のなかでの経費増につながるが、必要と思います。組織の再編成については、先ず団での提案を受けて考えたいと思います。

質問:税の滞納について、議員も職員と共に地元の対応に当たるべきではないか。

回答:滞納対策は、県の滞納整理機構に、移管して実績を上げています。

町としても、総合的な対策を講じています。

質問:空き家については、高齢者・防災・防犯の面からも対応が必要であるが。

回答:先程の回答にもあったとおり、重要な案件と考えています。

質問:旧態依然の東西南北は、悪く言えば地域エゴ、良く言えば特性が強いが、消防については改革を理解していただきたい。

滞納についても、トップに扱う問題として各議員は取り組んでいただきたい。

回答:うかがいましたご意見に、しっかりと各議員対応してまいります。

質問:子どもの遊び場で、どんぐり公園はハチが多く危険、安全の確保をお願いします。

噴水公園は必要ない、止めていただきたい。

回答:ご意見をうかがいましたので、議員みなしっかりと対応してまいります。